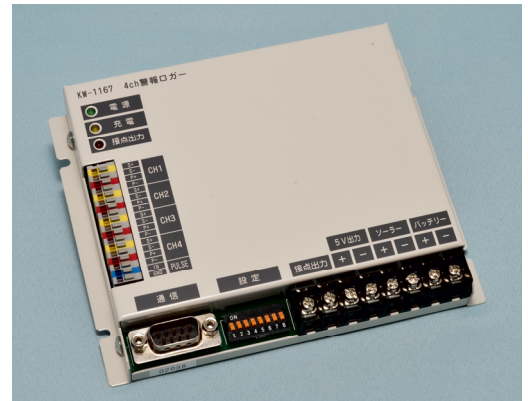


地下水位と地盤沈下の挙動を監視し、地下水保全に役立てる

地盤沈下モニタリングシステム

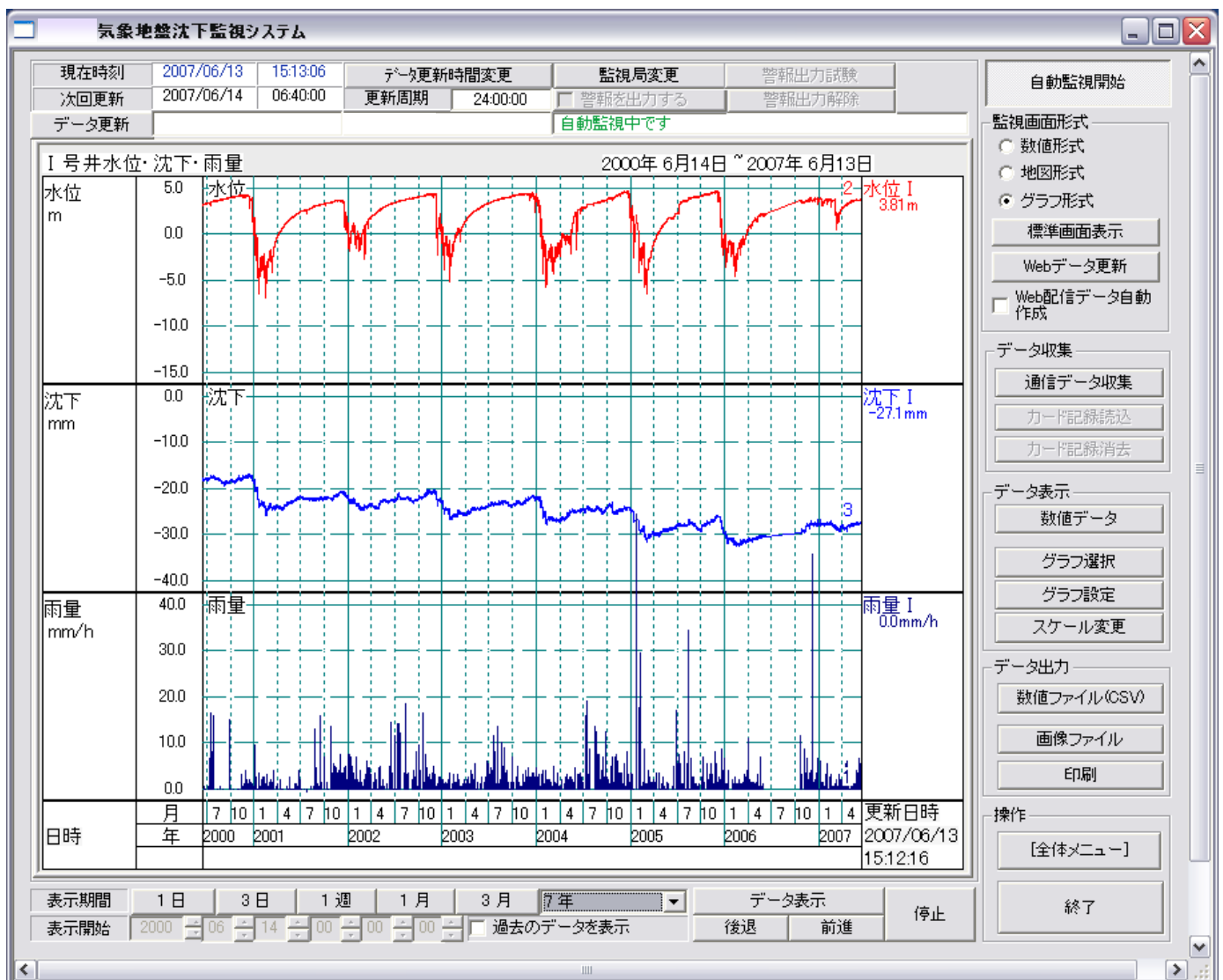
システムの特長

- いつでも観測データを確認できるので、地下水利用管理などに活用できます。また、センサーやシステムの異常に迅速に対応できます。
- 観測データは現地のデータロガーに保存され、通信回線により任意の時間に回収されます。
- 観測機器はバッテリーにより作動しますので、停電時でも計測は継続されます。また、バッテリー電圧も監視しています。
- 地下水位、地盤沈下量のほか、降水量や積雪深などの計測項目の追加が可能です。
- モニタリングソフトは、データ演算機能、グラフ表示機能などモニタリングに必要な機能を全て兼ね備えています。
- 通信方式は、FOMA回線をはじめあらゆる方式に対応できます。



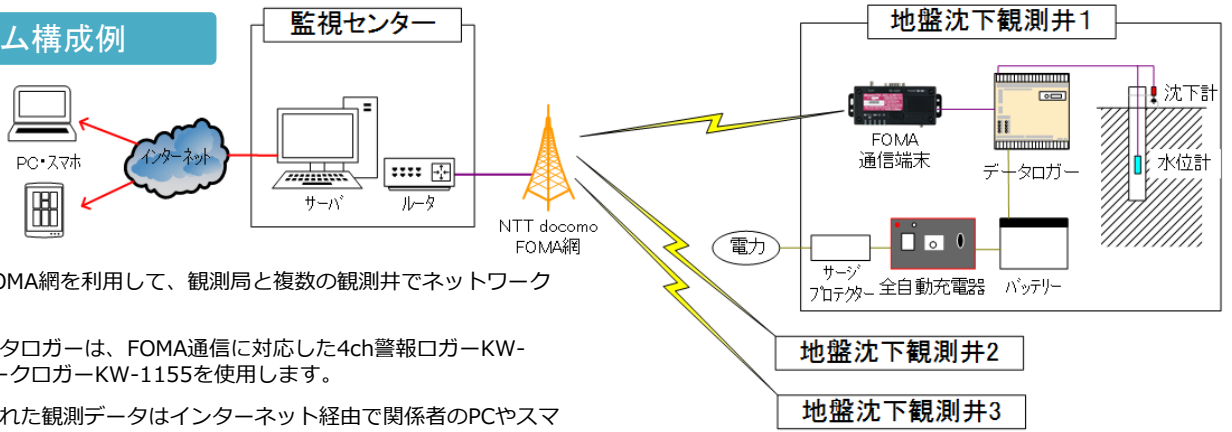
データロガー KW-1167

【主な仕様】アナログ入力:4ch、パルス入力、バッテリー電圧記録、FOMA電源出力、ソーラー入力、警報判定、RS232Cポート、記録容量20000回

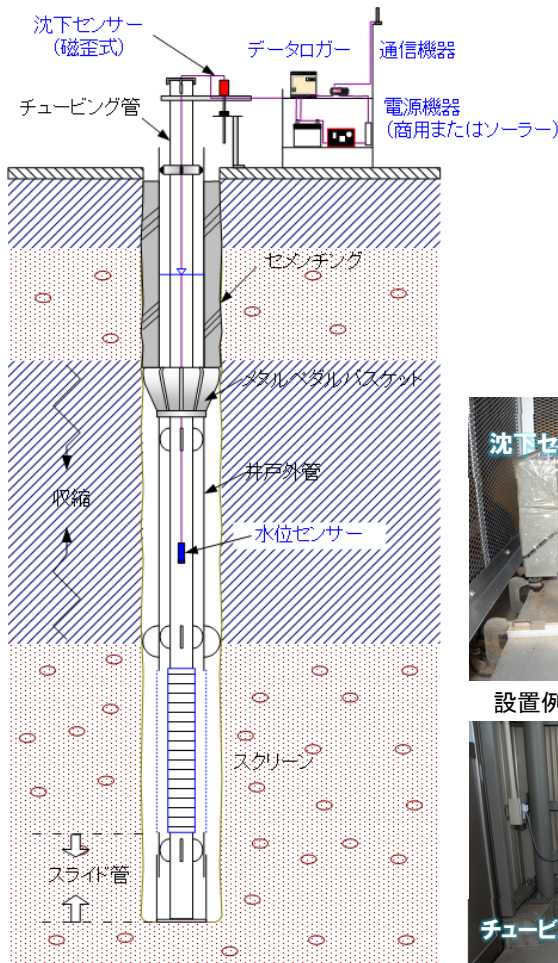


モニタリングシステム画面例

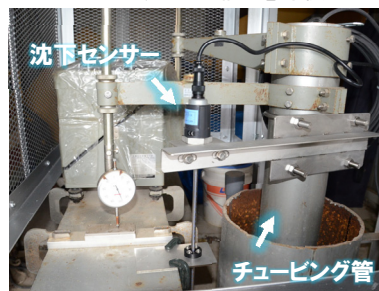
システム構成例



- ・ NTTドコモのFOMA網を利用して、観測局と複数の観測井でネットワークを構築します。
- ・ 観測井側のデータロガーは、FOMA通信に対応した4ch警報ロガーKW-1167やネットワークロガーKW-1155を使用します。
- ・ サーバに蓄積された観測データはインターネット経由で関係者のPCやスマホに配信します。



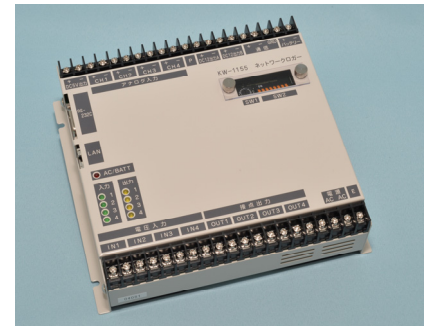
二重管式地盤沈下観測井の構造と観測システム



設置例① 既設地盤沈下観測井



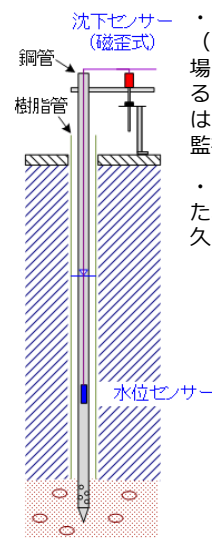
設置例② 新規地盤沈下観測井



データロガー KW-1155

【主な仕様】アナログ入力: 4ch、パルス入力、バッテリー電圧記録、外部電源出力 (FOMA、DC12V)、RS232Cポート、イーサネット (LAN) 接続可、記録容量4000回

簡易な地盤沈下観測システム



・ 土木工事に伴う地下水位低下工法 (ディープウェル等) が長期化する場合は、周辺での地盤沈下が懸念されることがあります。このような場合は、簡易な地盤沈下観測システムで監視することができます。

・ このシステムは設置コストを抑えた地盤沈下観測システムとして、恒久的に利用することもできます。



簡易な地盤沈下観測システム

観測施設の小型化

近年、観測施設周囲の市街化により、施設の撤去や小型化が求められることがあります。本システムは、観測機器の小型化が可能なので、そのような要求にも対応することができます。



従来の観測施設外観と内部

小型化した観測施設外観と内部

